



新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎ、あなたと、身近な人の命を守るため「うつらない」「うつさない」習慣を徹底しましょう。

香芝市議会議員 一同

CONTENTS —おもな内容—

9月定例会の概要・・・2～6P

9月定例会代表質問・一般質問・・・7～13P

- | | | |
|-----------------|----------------|----------------|
| ●芦高清友 議員・・・7P | ●河杉博之 議員・・・7P | ●眞鍋亜樹 議員・・・8P |
| ●川田 裕 議員・・・8P | ●清川希代子 議員・・・9P | ●下村佳史 議員・・・9P |
| ●中村良路 議員・・・10P | ●青木恒子 議員・・・10P | ●中川廣美 議員・・・11P |
| ●上田井良二 議員・・・11P | ●中山武彦 議員・・・12P | ●筒井 寛 議員・・・12P |
| ●中井政友 議員・・・13P | ●小西高吉 議員・・・13P | |

議会日誌・・・14P

令和3年9月第5回（定例会）について

会期：8月30日～9月24日（26日間）

9月定例会の概要

9月定例会では、理事者から条例の改正や一般会計及び特別会計の補正予算の他、令和2年度の一般会計、特別会計及び上下水道事業会計決算の認定など、合計20件の議案が提案されました。

9月1日、2日の代表質問及び一般質問では14人の議員が市政について質問を行いました。

9月6日には総務建設委員会、7日には福祉教育委員会を開催し、付託された案件について審査を行いました。また、総務建設委員会閉会后に議会改革推進調査特別委員会が開催され、議会映像の生中継（ライブ）配信などについて審査を行いました。

9月13日から15日の3日間にわたり決算特別委員会を開催し、令和2年度の一般会計決算の内容について慎重に審査を重ねました。

本会議の最終日である9月24日には、令和2年度一般会計決算、令和2年度国民健康保険特別会計決算その他1件の計3件の議案を継続審査とすることに決し、理事者から提案されたその他17件の議案については全て可決し閉会いたしました。

議案付託一覧表

総務建設委員会	議第43号、議第46号、議第48号、認第5～8号、 発議第9～11号
福祉教育委員会	議第44、45号、議第47号、議第49号、認第2～ 4号、意見書第5号、意見書第8号

（議案名はP5、6参照）

常任委員会の審査概要
常任委員会に付託した
議案について、主な議案
の審査内容の一部をお伝
えます。

総務建設委員会

○議第10号

香芝市議会議会政務活動費の交付に関する条
例の一部を改正することについて

【議案内容】

従来議員に対して交付されている政務活
動費を、会派に対しても交付する規定を設
けるとともに、会派の届出、経理責任者の
設置などを定めるため、条例の一部を改正
する。

【主な質疑・答弁】

（問）政務活動費よりも市民のための新型
コロナウイルス感染症対策に充当するほう
がよいのではないか。

（答）コロナ財源は国の交付金等もある。
使用の要否は各会派で選択することもでき
る。今回は制度をつくるのが主眼である。
（問）使途基準の改正は考えているのか。
（答）既存の基準は最近の判例で認められ
ない支出も含まれているため、改正・整理
する必要があると考える。

○議第46号

令和3年度香芝市一般会計補正予算（第
7号）について

【議案内容】

歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億5

744万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額を270億2802万円とする。

【主な質疑・答弁】

(問) 消防団員等公務災害補償費の措置理由についてお聞きしたい。

(答) 防災訓練参加のため現地へ向かう途中に交通事故を起こした消防団員への一時金である。

(問) 新型コロナウイルススワクチン接種について、最初から接種業務のアウトソーシングを進めていれば相当の割合が交付金で措置できたのではないか。

(答) 予算や渉外関係は職員でないとできなかった部分ではあるが、アウトソーシングを考えることも必要であったと考えている。

○議第48号

旧モナミホール除却工事請負契約の締結について

【議案内容】

旧モナミホールの解体及び中央公民館の一部改修工事の契約を締結するため、議決を求める。

【主な質疑・答弁】

(問) 除却後の管理等についてお聞きしたい。

(答) 中央公民館の駐車場として利用予定のため教育委員会で管理予定である。

(問) 近隣住民への周知、中央公民館・総合体育館利用者の安全確保についてはどのように考えているか。

(答) 近隣住民への周知は議決後行う予定である。中央公民館・総合体育館利用者の安全確保はガードマンの配置等により徹底していきたい。

福祉教育委員会

○議第45号

香芝市立認定こども園条例の一部を改正することについて

【議案内容】

香芝市立真美ヶ丘東幼稚園の認定こども園化に伴い、条例の一部改正を行う。

【主な質疑・答弁】

(問) 認定こども園下田幼稚園の開園時、手続き上のミスで4月1日の開園に間に合わなかったが、今回のスケジュールはどうか。

(答) 令和3年11月中に工事が竣工し、高田土木事務所より検査証を取得予定である。その他の手続きと併せて幼・保連携型認定こども園化を進める。

○認第2号

令和2年度香芝市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について↓継続審査

【議案内容】

歳入総額は69億5783万9000円、歳出総額は68億3929万9000円で、歳入歳出差引額は1億1854万円。実質収支額は歳入歳出差引額と同額であり、執行率は歳入で98.8%、歳出で97.1%である。

【主な質疑・答弁】

(問) 収納率向上対策についてお聞きしたい。

(答) 県のコールセンター事業に新たに参加するとともに、県から徴収アドバイザーの派遣を受け、徴収スキルの向上に努めた。

(問) 人間ドックの受診状況等についてお聞きしたい。

(答) 定員150人に対し例年約110人の受診に留まることから、助成額を1万円から2万円に増額したが、新型コロナウイルスの影響により人間ドック実施を控えた医療機関もあったことから、なかなか伸びなかった。

(問) 健康維持推進給付金の給付にあたり、効果等の検証は行ったのか。

(答) 検証はできていない。

(問) 給付金の給付は国民健康保険運営協議会に事後報告だったのではないか。

(答) 当時は緊急事態宣言が発令されたため、会長判断で実施し、協議会には事後報告となった。

決算特別委員会

決算特別委員会は、9月13日から15日の3日間にわたって慎重に審査を行いましたが、一般廃棄物焼却処理施設（美濃園）への搬入道路についての地元住民の理解が得られておらず、まだ審議が必要なため継続審査とすることの動議が提出され、採決の結果賛成多数で継続審査となりました。

次回は12月定例会の会期中に審査される予定です。

認第1号 令和2年度香芝市一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額	355億7987万9千円
歳出総額	345億7164万3千円
歳入歳出差引額	10億823万6千円

【主な総括質疑・答弁】

（質疑） 基準財政需要額の増加額、科目、単位費用の変化動向についてお聞きしたい。

（答弁） 増加額は約6億4,000万円である。主な要因は、社会福祉関係経費、高齢者の保健福祉費、幼児教育・保育の無償化による関係経費の単位費用等の増加である。

（質疑） 地方財政計画中の投資的経費の予算から香芝市が活用した事業及び市債発行額についてお聞きしたい。

（答弁） 橋梁の長寿命化対策事業やスポーツ公園整備事業、畑分川線、尼寺関屋線等の事業で、約15億3,000万円の地方債を発行した。

（質疑） コロナ禍に伴う納税の徴収猶予特例期間である1年が経過した後、平時の納税猶予や滞納処分に移行した際の対応についてお聞きしたい。

（答弁） 徴収猶予は期別ごとで期限が1年間と決められているため、1年が経過する1か月前に対象者に通知を行い、納付相談が必要であれば個別に対応している。

（質疑） 老朽化の進む中央公民館と除却するモナミホールを新たに複合施設として建設した場合、国庫補助など財政的にも有利だと考えるが、その点どうか。

（答弁） 文化拠点であったモナミホールに代わる拠点として、現在、生涯学習推進基本計画の中で考えているが、中央公民館の老朽化も進んでいるため、今後検討したい。



○委員構成

委員長	芦高清友	副委員長	中谷一輝
委員	中山武彦	筒井 寛	中井政友 木下充啓 眞鍋亜樹

令和3年9月第5回（定例会）香芝市議会の結果

議案番号	議案名	議決の結果
報告		
報第7号	令和2年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告受理
報第8号	香芝市個人情報保護条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	
条例		
議第43号	香芝市手数料条例の一部を改正することについて	原案可決 (全会一致)
議第44号	香芝市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び香芝市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて	
議第45号	香芝市立認定こども園条例の一部を改正することについて	
予算		
議第46号	令和3年度香芝市一般会計補正予算（第7号）について	原案可決 (全会一致)
議第47号	令和3年度香芝市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	
議第50号 (追加議案)	令和3年度香芝市一般会計補正予算（第8号）について	原案可決
決算		
認第3号	令和2年度香芝市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定 (全会一致)
認第4号	令和2年度香芝市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	
認第5号	令和2年度香芝市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	
認第6号	令和2年度香芝市財産区財産特別会計歳入歳出決算の認定について	
認第7号	令和2年度香芝市水道事業会計決算の認定について	
認第8号	令和2年度香芝市下水道事業会計決算の認定について	
その他		
議第48号	旧モナミホール除却工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)
同第5号	香芝市公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意 (全会一致)
同第6号	香芝市教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	
継続審査		
議第49号	指定管理者の指定について	継続審査
認第1号	令和2年度香芝市一般会計歳入歳出決算の認定について	
認第2号	令和2年度香芝市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	
議員提出議案		
発議第9号	香芝市議会会議規則の一部を改正することについて	原案可決 (全会一致)
発議第10号	香芝市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正することについて	原案可決
発議第11号	香芝市議会の議決すべき事件を定める条例を制定することについて	原案可決 (全会一致)
意見書第4号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書（案）	

議案番号	議案名	議決の結果
意見書第5号	出産育児一時金の増額を求める意見書(案)	原案可決 (全会一致)
意見書第6号	一般廃棄物処理施設の整備に伴う関係地域への対策事業に係る経費について適正な負担をするよう求める意見書(案)	原案可決
意見書第7号	新焼却場建設に係る地域協定における対策費負担の公平性を求める意見書(案)	
意見書第8号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書(案)	原案否決
選第3号 (追加議案)	奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	選挙

各議員の賛否の状況(全会一致を除く)

議員 議案	清川希代子	眞鍋亜樹	木下充啓	青木恒子	芦高清友	中谷一輝	中井政友	筒井寛	上田井良二	下村佳史	川田裕	中山武彦	中村良路	小西高吉	中川廣美	河杉博之	賛成	反対	
	議第50号	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	議長	○	×	○	×	○	10	5
発議第10号	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○		×	○	×	○	○	10	5
意見書第6号	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○		×	○	×	○	○	10	5
意見書第7号	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○		×	○	×	○	○	10	5
意見書第8号	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×		○	○	×	×	×	5	10

※川田議長は採決に加わりません。(賛成…○、反対…×、退席…△、欠席…ー)

9月定例会の代表質問・一般質問は9月1日、2日に行われ、その内容は次のとおりです。なお、内容等は各議員までお問い合わせください。(掲載は質問順)

問い合わせ先
議会だより編集委員会
TEL 44-33341

代表質問

質問者・項目

- 芦高 清友
香芝市の下水道事業について
- 香芝市の加配支援について
- 河杉 博之
コロナ禍の状況における支援体制について
- コロナ禍の終息(収束)後の市民サービスについて

一般質問

質問者・項目

- 眞鍋 亜樹
「教育のまち香芝」について
- 川田 裕
新一般廃棄物処理施設建設に係る対策費の負担、香芝市19億円、王寺町ゼロの不正について
- 新一般廃棄物処理施設建設の負担割合に関する「負担割合対策委員会(仮称)」の設置について
- 重要事件の市民への広報について
- 清川 希代子
子どもたちの学校生活をより豊かにする取組等について
- 下村 佳史
交通安全対策について

- 自然災害に対する市の取組について
- 中村 良路
学校給食費の無償化や軽減について
- 飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成について
- 青木 恒子
コロナ禍における市民生活について
- コロナ禍における市民生活について
- こども対策(こどもにも感染爆発)について
- 安心安全な香芝市に
- 中川 廣美
通学路の安全対策と旧市街地道路の拡幅について
- 水道事業の環境への取組について
- 上田 井良二
教育に関する相談等について
- 新たな市民の相談窓口について
- 中山 武彦
防災・減災対策について
- コロナ禍での困難の克服について
- 筒井 寛
契約の透明性で「奈良いち」になる
- 中井 政友
コロナ禍での市内介護サービスの状態について
- 市の公共交通の取組
- 猫の殺処分ゼロの取組
- 小西 高吉
安心・安全に産み育てられるま
- ちづくりについて

※質問者の項目のなかで、掲載していない部分や詳細は、香芝市議会のホームページに掲載予定です。



芦高 清友 議員

▼香芝市の下水道事業について

(問) コロナ禍においても生活環境を整備しなければならない。下水道の普及率が令和3年3月末時点で75.3%と低いがお考えか。

(上下水道部長) 国道168号線を起点に整備を行っており、西側は東側よりも整備範囲が広いことから未整備箇所も多くなっている。

(問) 本市も事業認可区域を拡大して整備を進めているが、国が下水道未普及対策を重点事業に位置付けている間に集中的に整備しなければならぬ。その点はお考えか。

(上下水道部長) 事業費の2分の1となる国庫補助金について、令和2年度と令和3年度は100%の配分率となっており、国の未普及地整備の方針からも令和7年度までは高い配分率になると考えている。それまでの間に、技師の増員要望も含め、整備事業を進めていきたい。

(問) 令和7年度以降の計画についてお聞きしたい。

(上下水道部長) 事業認可期間の延伸や区域の見直しは令和6年度中に行う。

▼香芝市の加配支援について

(問) これまで小・中学校の特別支援教育指導員の配置や、保育所、幼稚園、認定こども園において支援加配を拡充いただいたが、現在、支援が必要であり、かつ医療的ケアも必要な児童・生徒は在籍しているか。

(教育部長) 現在は在籍していない。

(問) 「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が令和3年6月18日に公布され、この支援が責務となったが現状はどうか。

(教育部長) 看護師等の専門的知識を有する職員の配置や施設面も考えると、現状直ちに対応するのは難しい面もあると考える。

(問) 保護者、児童・生徒、看護師、教職員や地域も含めた多くの福祉的なつながりがある中、ガイドラインが必要ではないか。

(教育部長) 今後の検討課題になるが、関係機関と調整をしながらガイドラインを策定していきたい。

(問) 今後も保育・教育の現場では様々な支援が求められる。支援加配の必要性が高まり、人材確保には予算が必要になってくるが、市長のお考えをお聞きしたい。

(市長) 加配に対しては現場の状況も把握しながらしっかりと検討していきたい。



河杉 博之 議員

▼コロナ禍の状況における支援体制について

(問) 新型コロナウイルス感染症の陽性者支援に関する県との連携体制についてお聞きしたい。

(危機管理監) 県からの陽性者に関する情報提供には限界があり、保健所が自宅療養・待機者に対してパルスオキシメーターを送付する際に、支援体制をとっている市町村の情報を直接陽性者に提供していただいている。

(問) 香芝市としての支援体制の内容についてお聞きしたい。

(危機管理監) 自宅療養・待機に伴う心配事等の相談案内と併せて、防災備蓄品を活用した衛生物品、食料品等の提供の支援を行っている。

(問) 今後の支援体制への考えについてお聞きしたい。

(市長) 罹患された方に寄り添う形での支援体制を検討していきたいと考えている。

▼コロナ禍の終息(収束)後の市民サービスについて

(問) 庁舎内のデジタル化への認識についてお聞きしたい。

(企画部長) 行政手続のデジタル化に向け、国のガイドラインに基づき押印手続の見直し等を進めている。

今後は、介護、子育て分野でのオンライン手続、決裁文書の電子決裁、テレワーク導入等の取組を推進していきたいと考えている。

(問) 「お悔やみ」に関するワンストップ化についてはどうお考えか。

(企画部長) 必要手続を可能な限り一か所の窓口で行う、申請書類を情報共有できるツールを導入する等の取組を進めたいと考えている。

(問) デマンド交通とコミュニティバスに関し、令和3年6月定例会以降の進捗についてお聞きしたい。

(生活安全部長) 7月末の地域公共交通活性化協議会にて、持続可能な地域公共交通を継続する観点から、バスルート見直しに関する方向性を決定した。

(問) 産後ケアの体制の現状についてお聞きしたい。

(健康部次長) 助産師や保健師による家庭訪問を実施している他、窓口や家庭訪問時に提供できる資料について検討している。

(福祉部長) 子育て世代包括支援センターにて、妊娠期から就学前までの子どもを一体的に見守り支援しており、その体制を一層充実したものにしていきたい。



眞鍋亜樹 議員

▼「教育のまち香芝」について

〔問〕令和3年3月まで副市長2人体制と三役報酬削減はセットであると繰り返し答弁されていたが、なぜ方針を転換したのか。

〔市長〕副市長2人体制ということを非常に困難であると感じ、それよりも教育に対してもっと力を入れていくべきではないかと考えた。

〔問〕6月の定例会において、政策の方針の転換のときに、なぜご自身から説明をしなかったのか。

〔市長〕説明不足だった部分に関してはおわび申し上げます。

〔問〕教育行政の事務において、唯一、長に権限が与えられているものが教育大綱を策定することであるが、どのようなお考えをお持ちか。

〔市長〕現在の教育大綱を検証し、来年度に新たな教育大綱を策定するよう教育部と話している。

〔問〕長と教育長の協議の場として総合教育会議を設けることになっているが会議は開かれたのか。

〔市長〕会議は開かれていない。必要だと思っているので開いていきたい。

〔問〕「教育のまち香芝」と言うから

には、相当な覚悟と準備を持って言わなければならない重大な事項だと思いがどうかお考えか。

〔市長〕この最初の1年間はパソコンの設置や就学援助の充実など、遅れていたところを取り戻してきた。今後はさらに向上させていきたい。

〔問〕教育のまちと宣言するには、教育大綱も策定しておらず総合会議も開かれていない。あまりにも準備不足であるため、一度宣言を撤回し、準備が整った後に、満を持して「教育のまち香芝」のスタートを切ってみてはどうか。

〔市長〕撤回するつもりはない。

〔問〕「教育のまち香芝」のビジョンについて詳しくお聞きしたい。

〔市長〕子どもに対しては学ぶことの楽しさを教え、教師に対してはティーチングとコーチングを進めたい。そして、大人に対しては無謬性からの脱却を考えている。

〔問〕教育監に対しては順調に、思っていたような効果が得られているということでよいか。

〔教育部長〕教育監の配置により、教育長は学校現場を訪問する機会を多く得ることができ、管理職への指導を十分に行うことができています。教育監においても、生涯学習という幅広い業務の中で、広い視野で助言や方向性を示していただいている。



川田 裕 議員

▼新一般廃棄物処理施設建設に係る対策費の負担、香芝市19億円、王寺町ゼロの不公平について

〔問〕令和3年8月19日の香芝・王寺環境施設組合の特別委員会において、組合事務局より、美濃園（現一般廃棄物処理施設）建設に係る協定書にある事業は関連事業であり、その協定書は美濃園建設ときに香芝市と地元自治会が取り交わしたとの答弁だがその認識でよいか。

〔都市創造部長〕その認識である。

〔問〕その後、副管理者である王寺町長より、関連事業はその市町が責任をもって協定を締結し、地元対策費は各市町の事務として支分するのが基本との発言は事実か。

〔都市創造部長〕事実である。

〔問〕副管理者より、地元協議も香芝市が勝手に行ったと受け取れるような発言があったが、美濃園建設時の地元説明会の開催は香芝・王寺環境施設組合という認識でよいか。

〔都市創造部長〕香芝・王寺環境施設組合の職員が参加していたことは事実である。

〔問〕覚書の10年協議と20年協議の

関連事業で、そのうち4割と3割を王寺町が負担は、それは事実か。

〔都市創造部長〕事実である。

〔問〕王寺町の一般廃棄物収集車の走行に関して、沿道住民が拒絶反応を示されていたがそれは事実か。

〔都市創造部長〕事実である。

〔問〕香芝市による王寺町側からの進入路の整備は、地域住民の生活環境の保全上支障が出ないように必要な措置を講ずるといふ、廃棄物の処理及び清掃に関する法律による命令により計画している解釈でよいか。

〔市長〕その通りである。

〔問〕新一般廃棄物処理施設建設の負担割合に関する「負担割合対策委員会（仮称）」を設置する必要があると考えるが見解をお聞きしたい。

〔副市長〕これまでの経緯も含め検証が必要と考える。委員会設置に関してはどのような体制が必要かも含め検討していきたい。

〔質問要約〕新焼却場の建替えに係り、進入路の約束がなければ新設はできなかった。負担割合の覚書も全部組合に行政文書として保管される。自分の所だけが良くて他はどうなっても良いという、王寺町長の答弁を我々は納得できない。香芝市の子どもの達予算まで削ることはあり得ない。如何にこの問題が重大であるかを申し上げる。



清川希代子 議員

▼子どもたちの学校生活をより豊かにする取組について

〔問〕 子どもたちの心のケアについて。新たに導入された校務支援システムや1人1台端末を活用した新型コロナウイルス感染症による心理的影響の調査をされたのか伺いたい。
〔教育部次長〕 特化した調査はしていない。

〔問〕 自殺、いじめ対策について。3月に文部科学省から「1人1台端末を活用し、児童・生徒の心身の状況の把握やスクールカウンセラー等によるオンラインカウンセリングの実施」の検討を促す旨の通知が新たに盛り込まれた。ICTを活用した調査を早急にする必要があると考え、見解を伺いたい。

〔教育部次長〕 今後の調査では、内容や対象学年に応じてICTの活用も検討する。それにより、早く子どもたちに対応ができると考える。

〔問〕 1人1台端末を活用することにより、自殺やいじめ、児童虐待、ヤングケアラーなど、これまで見えにくかった問題が早期に発見できると考える。大阪市で活用されている

システム等を導入するべきと考え、見解を伺いたい。

〔教育部次長〕 今回の提案事例等について研究していく。

〔問〕 教職員と児童・生徒との間におけるスクール・セクシャル・ハラメントについて、これまでの取組を伺いたい。

〔教育部次長〕 令和3年6月に教育職員による性暴力等の防止に関する法律が公布され、県と連携協力し相談・通報窓口の設置準備をしている。

〔問〕 県教委が12月に性被害のアンケート調査を実施予定。調査の実施が抑止力を持つと考えるので早期に実施するべき。また、教職員が自分で言動を再点検するセルフチェックシートを導入してはどうか。

〔教育部次長〕 是非導入したい。

〔問〕 幼稚園や小学校、中学校に配布予定の抗原簡易キットをどのようなように使用するのか伺いたい。

〔教育部次長〕 基本的には教職員が使用することを想定。小学校4年生以上の児童・生徒が直ちに医療機関を受診できない場合、本人及び保護者の同意を得てキットを使用することを想定している。また、教職員においても出勤後に直ちに医療機関を受診できない場合はキットの使用を想定している。



下村佳史 議員

▼交通安全対策について

〔問〕 通学路における危険な交差点に関する緊急点検後の対策についてお聞きしたい。

〔都市創造部次長〕 18箇所において安全施設設置等の対策が必要であり、2箇所は防護柵等の設置を完了しており、残り16箇所についても令和3年7月に工事着手している。

〔問〕 令和3年8月の通学園路の安全確保のための合同会議で、PTA、自治会等から提出された危険箇所の対策要望の取りまとめが行われているが何件の報告があったのか。

〔教育部長〕 昨年度の81件に対し、令和3年度は150件を超える報告があった。

〔問〕 対策要望として挙がってくるのはどのような内容か。

〔教育部長〕 見通しが悪い、道幅が狭い、歩道等がない等である。

〔問〕 要望に対する具体的な対策についてお聞きしたい。

〔教育部長〕 見通しが悪い場所には、ミラー、グリーンベルト等の設置等が考えられる。

▼自然災害に対する市の取組について

て

〔問〕 土砂災害警戒区域に関する周知はどのように行っているか。

〔危機管理監〕 最新の香芝市総合防災マップを作成した際に全戸配布と市のホームページへの掲載を行っており、定期的な防災啓発やハザードマップ確認を呼び掛けている。

〔問〕 防災スピーカーの設置箇所数と可聴範囲についてお聞きしたい。
〔危機管理監〕 市内15箇所を設置しており、可聴範囲はおおむね400メートルとされている。

〔問〕 防災スピーカーを土砂災害警戒区域外に設置する考えはあるか。
〔危機管理監〕 費用面、効果面での検討が必要であるが、災害時には様々なツールを用いた情報発信が必要であるため、あらゆる可能性の模索はしていきたい。



防災スピーカー

〔問〕 現在指定されている浸水想定区域はどこか。

〔都市創造部次長〕 一級河川である葛下川沿いの尼寺から別所までの区域である。他の一級河川の浸水想定区域の指定は現在ないが、全ての一級河川につき浸水想定区域の指定に向け作業を行う予定と聞いている。



中村良路 議員

▼学校給食費の無償化や軽減について

〔問〕平成30年12月定例会以降、学校給食の無償化に係る協議の状況についてお聞きしたい。

〔教育部長〕費用面など、まだ検討の途中であり実施に至っていない。

〔問〕小・中学生の児童一人当たりの給食費についてお聞きしたい。

〔教育部長〕小学生が年額5万319円、中学生が4万9500円である。

〔問〕小・中学校の給食無償化に係る費用についてお聞きしたい。

〔教育部長〕令和3年5月1日現在の児童・生徒数に基づく年間負担額はおよそ3億6300万円である。

〔問〕学校給食費の無償化や軽減について、市の考えをお聞きしたい。

〔教育部長〕市全体の財政面に大きく影響を及ぼすと考えており、国、県、他市町村の動向も見ながら検討を重ねていきたい。

〔市長〕今年度中には何らかの答えを出していきたい。

▼飼いのいない猫の不妊去勢手術助成について

〔問〕飼いのいない猫の捕獲や避妊などに関する市の取組はあるか。

〔市民環境部長〕餌付け行為をお控えただく、屋内飼育に努めていただく等の啓発を行っている。

〔問〕TNR活動とは何か。

〔市民環境部長〕捕獲した猫に不妊去勢手術を施した後に元のテリトリーに戻す活動のことである。

〔問〕TNR活動や不妊去勢手術などに対する助成制度はあるか。

〔市民環境部長〕県でTNR活動に対する支援を実施している他、公益財団法人日本動物愛護協会でも不妊去勢手術への助成を行っている。本市では、まちづくり提案活動支援事業においてTNR活動団体を採択し、その活動に対し補助金を交付した実績がある。

〔問〕市に問い合わせをすれば、TNR活動団体や日本動物愛護協会などを紹介してもらえるのか。

〔市民環境部長〕日本動物愛護協会の紹介は可能であり、市内のTNR活動団体についても随時確認した後で紹介することは可能である。

〔問〕今後の取組をお聞きしたい。

〔市民環境部長〕県が実施しているTNR活動支援事業を希望する者に対する趣旨説明や猫の飼い方や餌付けに関する啓発を行い、県との連携の中で取り組んでいきたい。



青木恒子 議員

▼コロナ禍における市民生活について

〔問〕無症状者へのPCR検査実施についてお聞きしたい。

〔健康部長〕実施には医師会との調整が必要であり公費負担も発生するため検討を要する。現状では集団免疫効果による感染拡大抑制のため、ワクチン接種を優先していきたい。

〔問〕市の生活保護率が他市に比べて低いのは高齢化率が低いだけではなく審査が厳しいからという意見があるが、その点どうか。

〔福祉部長〕国が示す基準に従い適正に実施しているが、困窮に至る理由は様々であるため、機械的な運用にならないよう個々の相談者に寄り添うよう心がけている。

〔問〕申請受理後の扶養義務者調査は必ず行っているのか。

〔福祉部長〕原則行っているが、DV被害からの避難者等調査することが申請者の不利益となる場合や長期間音信不通で交流が断絶している場合は調査を行わないとすることができることから、申請者個々の事情に応じた対応を行っている。

▼こども対策(こどもにも感染爆発)について

〔問〕就学援助費を国や近隣市並みに引き上げていただきたいと考えるが、その点どうか。

〔教育部次長〕コロナ禍で経済的に困窮する家庭が増えており、対象家庭を支える就学援助の重要性が大きくなっていると実感しているため、検討していく必要があると考える。

〔問〕ヤングケアラー調査の結果についてお聞きしたい。

〔教育部次長〕中学3年生を対象とした県教委の調査では、県基準該当者は本市で4人だった。

▼安心安全な香芝市について

〔問〕要望した危険箇所改善について、実施可否を知る方法はないか。

〔都市創造部次長〕実施予定が立てられる箇所については、自治会長が所管課に来られた際にその場で報告している。今後は、精査した上で随時実施可否について伝え、地域の方にも伝わるよう改善する。

〔問〕穴虫地域の林地開発に関する県からの意見照会に対し、回答した内容についてお聞きしたい。

〔都市創造部次長〕盛土の滑動崩落が起これば人命、公共交通に重大な被害が発生することから、滑動崩落対策を行うよう事業者者に十分に指導すること等を意見として回答した。



中川廣美議員

▼通学路の安全対策と旧市街地道路の拡幅について

(問) サンデー前歩道内の電柱移設の進捗状況についてお聞きしたい。

(都市創造部長) 電柱移設先の土地所有者の事業協力が得られ、6本の移設が可能となった。今年度中に3本の移設を予定しており、残り3本は来年度の移設を予定している。また4本は事業協力が得られた民地へ、残り2本は歩道端部への移設を検討しているが、電柱外径を小さくするなど有効幅員を少しでも確保する方向で検討している。

(問) 五位堂幼稚園北側踏切の安全対策の進捗状況についてお聞きしたい。

(都市創造部長) 南北道路約2メートル区間の有効幅員を拡幅する工事を今年度施工予定である。

(問) 狐井地区交差点付近の道路拡幅工事の進捗状況についてお聞きしたい。

用地協力交渉を行う予定である。

▼水道事業の環境への取組について

(問) マイクロ水力発電の事業概要についてお聞きしたい。



マイクロ水力発電装置

(上下水道部長) 奈良県営水道の御所浄水場から今泉配水場へ自然流下で送水される落差エネルギーのうち、今泉配水場への流入に必要なエネルギーを除いた余剰エネルギーを有効活用して発電を行い発電した電気を売電する事業であり、本年4月から稼働開始している。

(問) どれくらいの効果を見込んでいるのか。

(上下水道部長) 年間発電量は約353メガワットアワーであり、年間約120万円の売電収入が20年見込まれる。この発電量は一般家庭約108件分の年間電気使用量に相当し、二酸化炭素の排出量を年間約220トン削減できる効果を見込んでいる。

(問) 20年の契約期間を延長することはできないのか。

(上下水道部長) 電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法を活用しており、調達期間の条件が20年である。



上田井良二議員

▼教育に関する相談等について

(問) スクールカウンセラーの配置状況についてお聞きしたい。

(教育部次長) 小学校は市費から市内10校に3名で408時間、中学校は県費で各校に1名ずつ465時間の計画で配置している。

(問) スクールカウンセラーの配置時間は足りているのか。

(教育部次長) 相談件数の増加、相談内容の多様化等を考えると、時間の更なる充実が必要と考える。

(問) 小1プロブレムについてどのように認識しているのか。

(教育部次長) 小学校1年生の学級で、児童が授業中に教室内を歩き回る、教室から出て行く、指示が通らない等、学習規律が成立しない状況をいい、家庭、幼稚園、こども園、保育所と小学校の連携が不可欠であると認識している。

(問) 小1プロブレム対応策としての保育所・幼稚園等へのサポート体制の状況についてお聞きしたい。

(教育部次長) 保健センターが連携している大学から臨床心理士が巡回相談員として各園を回り、園児の心

理面や発達面について専門的な見地からサポートを行っている。

▼新たな市民の相談窓口について

(問) 高校、大学在籍者の相談窓口はどこになるのか。

(福祉部長) 児童福祉課が子ども、若者支援相談事業として相談窓口を社会福祉協議会に委託し実施している。

(問) 未就学者・未就職者の相談件数、相談後の復帰率についてお聞きしたい。

(福祉部長) 令和2年度の相談者21人のうち3人が高校・大学への不登校であり、復帰率は不明である。その他18人が未就職だったが、うち4人が同年度中に何らかの就労につながった。

(問) 関係機関との連携状況についてお聞きしたい。

(福祉部長) 就労関係は地域若者サポートステーションやハローワーク、精神保健福祉関係では保健センターや社会福祉課、ひきこもり状態の方の家族はひきこもり家族のつどいへつなぐ等の支援を行っている。

(問) 相談窓口の取組についてご意見をいただきたい。

(教育長) 本人だけでなく、家族も対象にした相談窓口の存在は大変重要であり、今後とも教育と福祉の連携をより深め対応していきたい。



中山武彦 議員

▼防災・減災対策について

〔問〕特定都市河川浸水被害対策法の改正により大和川が特定都市河川に指定されたら何が変わるのか。

〔都市創造部次長〕流域水害対策計画の策定、協議会の創設、雨水貯留浸透施設整備に係る予算・税制に係る支援制度の拡充等がある。

〔問〕本市が行うため池を利用した流域貯留浸透事業の予算も拡充されるのか。

〔都市創造部次長〕国庫補助金の補助率が2分の1に拡充される。

〔問〕要配慮者を避難予定者として特定の福祉避難所に事前にマッチングしておくことが望ましいと考えるが、その点どうか。

〔危機管理監〕前もって受け入れ可能な福祉区分の公示ができるよう民間施設と今後調整していきたい。

▼コロナ禍での困難の克服について
〔問〕市職員に募集して集まったワクチン接種率向上のアイデアについてお聞きしたい。

〔企画部長〕接種者へのインセンティブ付与、接種会場の拡充・接種時間の拡大、ワクチン効果・副反応等の

情報発信などがあった。

〔問〕ワクチン接種後の健康被害に対する救済制度の市民への周知についてお聞きしたい。

〔健康部長〕市ホームページへの掲載、予約開始案内時の通知に記載し、周知している。また、被接種者が制度を認識していなくても、接種医療機関や副反応疑いにより受診した医療機関の医師により必要な場合は説明されることになっているため、行政と医療機関双方から周知ができると考えている。

〔問〕自殺対策に対する本市の取組についてお聞きしたい。

〔健康部長〕自殺をタブー視せず、心の不調時に専門機関に相談できる力をつけることを目指し、市内4中学校の3年生を対象にメンタルリテラシー教育等を実施予定である。また市民を対象としてゲートキーパー育成を行うことで、心の健康について一人ひとりが関心を持てるよう支援していきたい。

〔問〕市内観光促進のためのマイクロツーリズムの推進についてお聞きしたい。

〔地域振興局長〕密を避けるアクティビティとしてニーズが高まっている自転車誘客ツールとして、相撲連携事業でサイクルツーリズムを今年度実施予定である。



筒井 寛 議員

▼契約の透明性で「奈良いち」になるⅡ

〔問〕入札に関し、公平性・透明性の向上のため改善した点はあるか。

〔総務部長〕品質の確保とともにより一層の競争性の促進について検討を行い、同種工事の施工実績を求め期間を過去10年間から15年間に緩和し、入札機会の拡大を図った。今後も各方面の動向等も踏まえながら必要な改革に取り組んでいきたい。

〔問〕改善により入札状況に変化が見られたかお聞きしたい。

〔総務部長〕改善効果によるものか分かりかねるが、近年は大規模建築工事の入札において参加者が1者のみが続いていたが、過日実施の旧モナミホール除却工事の入札では4者が参加した。これまでも公平性・公正性等に最大限留意しているが、品質を確保できる中でより入札しやすい環境づくりを今後も検討していきたい。

〔問〕旧モナミホール除却工事の入札で最低価格を入札した業者が落札業者にならなかった理由についてお聞きしたい。

〔総務部長〕当該入札は品質確保のために最低制限価格が設定されており、これを下回る価格による申込が行われた場合は落札者にならない。当該入札は2者が最低制限価格を下回った。

〔問〕最低制限価格の公表はどのタイミングか。

〔総務部長〕当市では落札者決定の翌日に結果公表書で公表している。奈良県は事前公表だが、他市は事前・事後様々である。

〔問〕事前に公表されない場合、最低制限価格の改ざんが不可能ではないと考えるが、その点どうか。

〔総務部長〕不正が疑われるような行為はない。しかし、一層の透明性確保のための対応について十分検討していきたい。

〔問〕最低制限価格の算定方法は業者に対して提示されているのか。

〔総務部長〕本市ホームページ上で算定方法や計算例を示している。

〔問〕現行の入札制度は改善の余地があると考えますが、その点どうか。

〔総務部長〕その時々状況により適切に対応することが必要と考える。改善の余地があるものは各方面の状況等も鑑みながら実行し、今後も公平性・透明性等の向上に努めていきたい。



中井政友議員

▼コロナ禍での市内介護サービスの状態について

(問) コロナ禍の市内介護事業所への影響についてお聞きしたい。

〔健康部次長〕 令和2年4月、5月の緊急事態宣言期間中は居宅サービス利用の減少が見られたが、6月以降はほぼ通常通りの利用状況に戻った。また市内事業所の休止や廃止はなかった。

(問) 総合事業の利用状況についてお聞きしたい。

〔健康部次長〕 要支援認定者や総合事業対象者など要介護状態が比較的軽度な方を対象に介護予防や重度化予防を目的に行うサービスであり、前年度比の利用者数は訪問介護サービスが微増しているが、通所型サービスが減少傾向である。

(問) 介護予防の取組として、どのような事業を行っているのか。

〔健康部次長〕 初めて要支援認定を受けた方や身体機能の低下が認められた方を対象に、生活・運動機能向上を目指した短期集中型の教室を開催している。令和2年度は参加者の6割が現状維持又は自立しており、

介護予防の効果があつたと考えている。

▼市の公共交通の取組

(問) コロナ禍の地域公共交通への影響についてお聞きしたい。

〔生活安全部長〕 前年度比の利用者はデマンドタクシーが18%減、コミュニティバスが47%減であり、明らかな影響が出ている。

(問) 今後

の地域公共交通改定に向けたスケジュールについてお聞きしたい。

〔生活安全部長〕 7月



コミュニティバス

末の地域公共交通活性化協議会において確定したバスルートの基本方針に基づき、来年度実証運行を進め、その後本決定となる。

▼猫の殺処分ゼロの取組

(問) 所有者不明の猫についての連絡が市へあった場合、どのような対応をしているのか。

〔市民環境部長〕 昨年5月までは市役所窓口で引き取り、その後保健所に引き取っていたが、法改正により現在は行っていない。問い合わせ時は中和保健所への問い合わせをお願いしている。



小西高吉議員

▼安心・安全に産み育てられるまちづくりについて

(問) 学童保育の退所率が毎年5%ずつ上昇している要因についてどのように考えているのか。

〔教育部長〕 令和2年度の退所届の理由欄にはコロナ感染の不安、保護者の在宅ワーク等の記載があった。学童指導員からは、学校の臨時休業による兄弟の在宅や感染防止に伴う家庭保育の依頼により退所児童が増えたと聞いている。

(問) 6月定例会で採択された学童新規開設に関する請願書に署名した方の思いをどのように酌み取ったかお聞きしたい。

〔教育部長〕 子ども達の命を守るための安心・安全な環境の確保を最優先に考え夏休み前に検討した結果、充足率の高い下田・三



学童保育所として利用された下田小図工室

和学童保育所について各学校の図工室で夏休み期間限定の学童を増設した。ただ、新規開設は今後も継続し

て考えていく課題であると認識している。

(問) 市長公約で市民が決める、市民の声をしっかり聞くところがあるが、請願者等の生の声を聞く機会を設けることは可能か。

〔市長〕 可能である。お話しさせていただきたい。

(問) 学童保育の改善策についてお聞きしたい。

〔教育部長〕 希望者の見込み量を算出しながら学童保育所の在り方を考えていきたい。また、民間活力も利用しながら定員と在籍率が近づぐように進めていきたい。

(問) スポーツによる地域活性化について、市の考えをお聞きしたい。

〔企画部長〕 交流人口、関係人口の創出につながる有効なツールの一つであると考える。

(問) スポーツ公園の完成時期についてお聞きしたい。

〔都市創造部長〕 プール施設は令和6年7月の部分開業を目指しているが、全体については具体的な話は難しい。

(問) スポーツコミッションの設立について、市長の考えをお聞きしたい。

〔市長〕 スポーツツーリズム等による関係人口の増加は非常に良いことだと考える。今後検討していきたい。

議会の傍聴について

傍聴を希望される方は、市役所5階議会事務局で、傍聴人受付簿に住所、氏名、年齢及び緊急連絡用電話番号をご記入ください。

- ◆本会議の状況は、庁舎1階ロビーのモニターでもご覧いただけます。
◆聴覚に障がいのある方は事前に議会事務局までご連絡ください。

議会事務局メールアドレス gikai@city.kashiba.lg.jp

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、傍聴については極力自粛の協力をお願いします。
・マスクを着用の上、席の間隔をあけてご着席ください。
・体調不良の方は傍聴をご遠慮ください。
・非接触型の検温器で体温が高いと判定された方は傍聴をご遠慮いただく場合があります。

香芝市議会情報のご案内

本会議(代表質問・一般質問など)や常任委員会などの会議録の検索、議案の議決結果、議員紹介、傍聴の手続き、本会議・委員会の録画配信など香芝市議会の情報をご覧いただけます。議会の日程につきましてもホームページでご確認ください。香芝市議会ホームページ http://www.city.kashiba.lg.jp/shigikai/

香芝市議会ホームページ



12月定例会から本会議及び委員会の生中継(ライブ)配信予定です。準備ができ次第、議会ホームページでお知らせします。

令和3年12月定例会会期(予定) ※午前9時開会

Table with 3 columns: 月 (Month), 日(曜日) (Day of the week), 会議名 (Meeting name). Rows include dates from 11/30 to 12/17 and meeting names like '本会議', '代表質問・一般質問', '決算特別委員会', etc.

*正式な会期・日程案は、議会運営委員会で決定します。また、特別委員会が開催される場合があります。

奈良県市議会議長会から表彰

中村良路議員が本市の議長、副議長を2年以上勤めた功績から、奈良県市議会議長会より特別表彰を受彰されました。



中村良路議員



- 11月: 4日 福祉教育委員会臨時会, 議会運営委員会
27日 香芝・王寺環境施設建設調査特別委員会
21日 全国高速自動車道市議会協議会
15日 全国市議会議長会特別委員会
7日 香芝・王寺環境施設建設調査特別委員会
10月: 24日 議会運営委員会
13日 決算特別委員会
7日 福祉教育委員会
6日 総務建設委員会
9月: 1・2日 代表質問・一般質問
30日 奈良県市議会議長会
27日 議会運営委員会
23日 葛城地区清掃事務組合議会
19日 議会運営委員会
18日 香芝・王寺環境施設建設調査特別委員会
17日 議会改革推進調査特別委員会
12日 倫理調査特別委員会
令和3年8月: 12日 新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会

編集後記

10月の半ばから急に気温も下がり、すっかり秋らしい気候となりました。食べ物が美味しい季節ですが、冬越しを備えた動物たちも多くの食べ物を必要とする時期です。市内でも、食べ物を求めて里に降りてきたであろうイノシシの目撃情報が多数寄せられています。野生動物と人の生活領域が重なりつつあることを改めて認識させられます。市のホームページでは、イノシシの最新の目撃情報や注意すべき点などを公開しております。「備えあれば憂いなし」の精神で事前の情報収集にお努めください。

議会だよりは、議会の活動をわかりやすく伝えるよう努めています。ご意見等がありましたら、議会だより編集委員会までお寄せください。

〔問い合わせ〕TEL 44-3341

FAX 76-7564

令和3年11月10日編集 議会事務局内

議会だより編集委員会

- 委員長 河杉博之
副委員長 中谷一輝
委員 中川廣美
小西高吉
中井政友
荻高清友